

2025年9月26日

加茂繊維株式会社に対する 「くひろぎん」SX ネクストローン」の実行について

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）では、加茂繊維株式会社（本社：岡山県津山市、代表取締役社長 角野 陽平）に対して「くひろぎん」SX ネクストローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 案件概要（「くひろぎん」SX ネクストローン」の概要は【別紙 1】をご参照ください）

融資実行日	2025年9月26日
融資金額	3億円
融資期間	5年
目標	廃棄率 (裁断屑量/裁断総量)
その他	ひろぎんエリアデザイン株式会社から「くひろぎん」SX ネクストローンにかかる評価書【別紙 2】を取得しております。

2. 企業概要

会社名	加茂繊維株式会社
所在地	岡山県津山市野介代 1650-1
代表取締役社長	角野 陽平
業種	繊維製造業
事業内容等	新・機能素材の開発と繊維製品企画製造販売

以上



広島銀行では、SDGs への取組みを強化しております。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行
営業企画部 法人企画室
TEL (082) 247-5151 (代表)

「(ひろぎん)SX ネクストローン」について

○特長

- ・地元企業のサステナビリティ向上に寄り添い、地域のサステナビリティ向上に資する取組みについて、資金面からご支援します。
- ・お客さまと地域のサステナビリティ向上につながる目標を設定していただき、目標達成の場合に金利引き下げを実施します。
- ・対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま ・自社と地域のサステナビリティ向上に資する目標を設定※ ・年 1 回のレポートの実施（お客さまから銀行への報告） ※設定目標には、ひろぎんエリアデザインによる評価を実施
お使いみち	運転資金・設備資金
ご融資金額	当行所定の金額
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利（目標達成の場合、金利引下げを実施）
ご融資形式	証書貸付・当座貸越
ご返済方法	当行所定の審査によります
担保・保証人	
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります

- ・SX とは、Sustainability Transformation の略で、企業がサステナビリティ（持続可能性）を重視した経営方針に転換することです。
- ・本商品は環境省等が定めるガイドラインに適合する SLL（サステナビリティ・リンク・ローン）ではございません。

〈ひろぎん〉SXネクストローンにかかる評価書【別紙2】

加茂繊維株式会社 〈ひろぎん〉SXネクストローン

発行日：2025年9月26日
発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行(以下、「貸付人」という)と加茂繊維株式会社(以下、「借入人」という)の間の〈ひろぎん〉SXネクストローン(以下、「本ローン」)について、貸付人が、持続可能な地域社会の実現に貢献することを目的とし、地域特性や業種特性を踏まえて独自に設定した評価基準に基づき、借入人のサステナビリティに対する取り組みを評価したものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. 借入人とサステナビリティ

(1) 会社概要

借入人は、岡山県津山市に所在する繊維メーカーであり、自社開発の高機能素材「BSファイン」(天然鉱石ブラックシリカをポリエステル繊維に封入した素材)を活用した商品企画・製造・通信販売を中核事業とし、“着る岩盤浴”として全国的に知られるブランドを展開している。あわせて、グンゼ株式会社のインナーウェア受託製造やOEM生産、Tシャツ・イベントノベルティなどの製造・卸も手掛け、素材開発から直販まで一貫した体制を強みとしている。



(資料) 借入人ホームページおよび公式通販サイトより抜粋

企業名	加茂繊維株式会社
代表者	代表取締役社長 角野陽平
所在地	岡山県津山市野介代1650-1
設立	1973年8月
資本金	1,000万円
従業員数	108名(2025年6月時点)
事業内容	・ 鉱石の採掘・粉碎加工事業 ・ 商品企画・販売事業 ・ 素材研究、素材開発、用途開発事業 ・ 自社ブランドの製造
主要ブランド	“着る岩盤浴”BSファインほか



(2) サステナビリティ

借入人は、創業以来の「誠実なものづくり」「人間教育」の文化を基盤に、独自素材「BSファイン」の開発によって、健康や環境、地域課題に応える商品づくりを行ってきた。これらの活動は、単なる企業の成長戦略を超え、「より豊かで持続可能な未来を創造する」という企業の強い想いを体現するものであり、このような背景と実績があるからこそ、同社が推進するサステナビリティ活動は、真に意義ある取り組みとして社会から高い信頼を得ている。

【借入人のサステナビリティに取り組む意義】

1. 創業から継承される「誠実なものづくり」と人間教育

- 1973年にグンゼの協力工場として創業以来、誠実なものづくりとその背後にある人材育成を徹底的に学び、それを今の企業文化の大きな財産として継承

2. 独自素材「BSファイン」による技術革新と社会課題への挑戦

- 天然鉱石「ブラックシリカ」との出会いから、4年間の研究・開発を経て新素材「BSファイン」を開発
- この新素材は、“冷え”などの人々の健康課題解決を目的に開発され、「着る岩盤浴」としてブランディング。現在ではお客様の悩みに寄り添い、より豊かな暮らしをサポートする商品へと進化

3. 経営理念と地域・社員を大切にする姿勢

- 経営理念「より健康で豊かな人生の創造」は、社員や関係者全員が、心身ともに快適な人生を送れるような商品・サービスを創造し続けるという強い想いを表現
- SDGs宣言への取り組み（次頁参照）では、社員の自律的な成長支援や地域貢献（地元人材の採用、地域学校での講演、プロスポーツへの協賛等）を通じて、地域社会との共生と持続性を追求

4. 環境負荷低減の具体的施策と評価

- 繊維業界が抱える大きな課題の一つである“裁断屑の大量廃棄”に対し、裁断屑の再利用を軸に環境負荷の軽減にアプローチ
- 「ノンカーボン素材」の提供や、品質・能力向上による不良品率の低減（0.5%）など、日々の改善活動も評価

5. 社会的信用を得た取組の実績

- 2022年に「サステナビリティ・リンク・ローン」を活用し、廃棄率の削減など具体的なサステナビリティ目標を設定し、広島銀行から資金調達を実施
- BSファインは認定や受賞を多数得ており、「地域未来牽引企業」「中国地域ニュービジネス大賞優秀賞」「岡山県わが社の技」など、地域や産業界から高い評価を獲得

(資料) 借入人ホームページほか公開情報より作成



【借入人のSDGs宣言】



加茂繊維株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2021年11月22日
加茂繊維株式会社
代表取締役 角野 充俊

当社のSDGsへの貢献

繊維のチカラで明日を変える

お客さまの悩みに寄り添い、培ってきた高い技術・開発力と品質のもと、社会が抱える様々な課題解決に挑戦し、“より心地よい暮らしを世界に！”をビジョンとして社会の課題を解決してまいります。

- 【主な取組み】
- ・新・機能繊維素材「BSファイブ」を活用した素材・商品開発（医療・介護、健康分野での活用や、作業効率の向上や蓄熱性能を活用した建築資材への応用によるノンカーボン素材の提供による環境負荷低減への貢献）



未来を実現するための人づくり

社員一人ひとりが豊かな人生を実現することを願い、社員自身の成長と、会社の成長を実感できる企業づくりを実践してまいります。

- 【主な取組み】
- ・自らの成長度合いを数値で可視化し、未来設計が出来る成長支援制度の導入
 - ・職務・階層に応じた定期研修や多種多様な教育の充実
 - ・短時間勤務制度導入による両立支援への取組み



ものづくりへの想い

「金の品質・銀の価格」を基本に、環境整備と絶え間ないイノベーションへの取組みを通じて、商品・サービスを磨き続けてまいります。

- 【主な取組み】
- ・環境整備や品質・能率向上に向けた日々の改善提案
 - ・継続による品質の維持・向上（不良品率0.5%）
 - ・お客様の声を起点とした商品・サービス向上



地域社会への貢献

良き企業、良き市民として、創業来地域に根差した事業活動を継続することで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

- 【主な取組み】
- ・地域未来牽引企業への認定
 - ・地域の小・中・高等学校での講演活動の継続
 - ・地元人材の積極採用・地域プロスポーツへの協賛



SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの（2015年9月に国連で採択）。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。

（資料）借入人提供



2. 目標の選定

(1) 目標の概要

借入人は目標として「廃棄率（裁断屑量／裁断総量）」を設定した。廃棄率の低減に向けた具体策としては、再生屑を中綿として再利用したまくら・靴下・手袋などの縫製品を開発するリサイクル繊維製品の開発や、細かく裁断した裁断屑を不織布へ加工する素材開発といったマテリアルリサイクルによる用途開発に取り組むことを想定している。

(2) 目標の重要性

本目標は、廃棄物削減による環境負荷の軽減や、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行に貢献するものであり、借入人のサステナビリティ経営において重要な意味を持つ。

(3) 経営方針と目標の関係

借入人は、前述のSDGs宣言において「繊維のチカラで明日を変える」を掲げ、主に新機能繊維素材「BSファイン」を活用した素材・商品開発に取り組んでいる。具体的には、医療・介護・健康分野での活用、作業効率の向上や蓄熱性能を生かした建築素材への応用などを通じ、ノンカーボン素材の提供による環境負荷低減に貢献している。この取組は、本ローンに関連して設定されたリサイクル繊維製品の開発やマテリアルリサイクルによる用途開発を通じた廃棄率低減の目標と一致しており、経営方針との整合性を有している。

(4) 目標の有意義性

環境省によると、国際的なファッション産業は、製造に伴うエネルギー使用量の多さやライフサイクルの短さなどから、環境負荷が非常に大きい産業と指摘されている。そのような背景のもと、衣服の生産から着用、廃棄に至るまで環境への影響を考慮したサステナブルファッション^{※1}への取組は、近年急速に広がっている。一方、日本の繊維産業では、一部の企業でサステナビリティへの取組が始まっているものの、複雑かつ長期的とされるサプライチェーンの管理など、多くの課題が残されている。

こうした状況を踏まえ、経済産業省は2021年2月に「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」を設置し、計6回にわたり議論を行った。同年7月の報告書では、①環境配慮、②責任あるサプライチェーン、③ジェンダー平等、④供給構造、⑤デジタル化の促進の5点を中心に、現状と今後の取組が整理されている。特に環境配慮については、「大量生産・大量消費・大量廃棄」のリニア・エコノミーから、「適量生産・適量購入・循環利用」のサーキュラー・エコノミーへの移行が求められ、副産物削減、省エネルギー・省資源、製品の長寿命化など、環境配慮型設計が課題とされている。

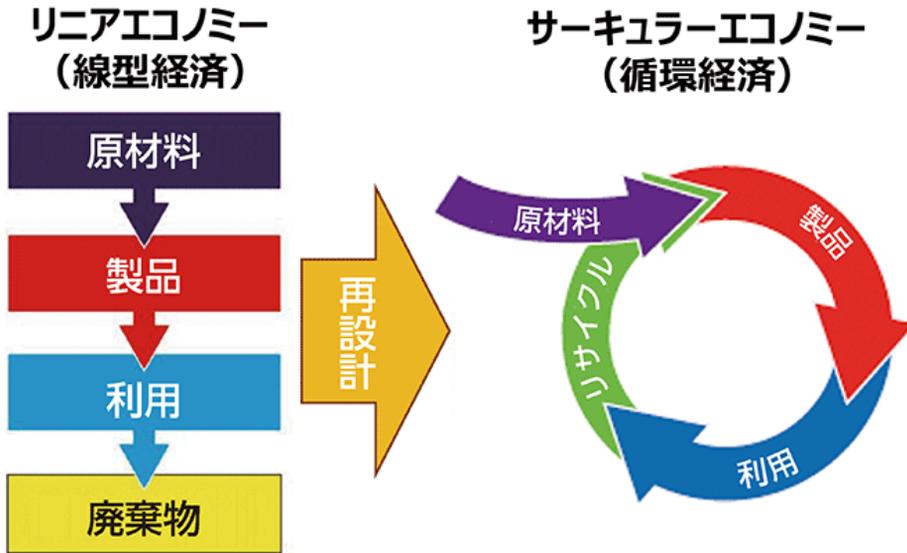
また、環境省は日本で消費される衣服と環境負荷に関する調査を行い、その結果を基に2021年4月に「SUSTAINABLE FASHION これからのファッションを持続可能に」というレポートを発表した。このレポートでは、ファッション産業が抱える環境負荷とその対策が整理され、企業の取組の一つとして、原材料調達段階でのリサイクル繊維製品の開発や、製造・回収段階におけるマテリアルリサイクルが位置付けられている。

※1 衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて、将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組のこと。



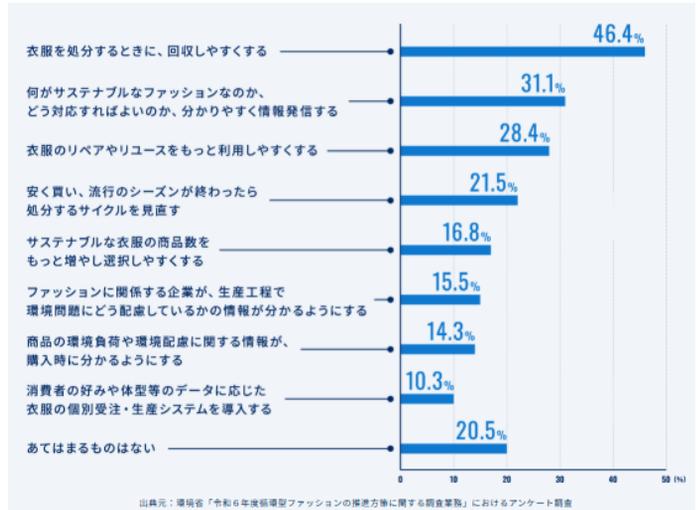
以上のことから、借入人が設定した本目標は、環境負荷の軽減や、循環経済への移行に向けた国内外の政策及び企業の動向に合致するものであり、有意義なものであるといえる。

【リニアエコノミーとサーキュラーエコノミー】



(資料) 環境省「令和3年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」より抜粋

【サステナブルファッションにおける循環型モデルと具体的なアクション】



(資料) 環境省ホームページ「SUSTAINABLE FASHION」より抜粋



3. 目標値の設定

本ローンの目標値の設定については、以下の（１）から（３）の観点より適切な内容で設定されていると評価する。

（１）目標値の概要

借入人は、目標として設定した「廃棄率（裁断屑量／裁断総量）」について、2026年度から2031年度にかけて下表のとおり目標値を設定した。

【借入人の目標値】

本目標値の対象

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
廃棄率(%)	15	22	12	8	6	6	6	6	6

（注）各年度の判定期間は4月1日～翌年3月31日。初回判定日は2026年3月31日。

（２）目標値の妥当性

環境省によると、裁断屑は産業廃棄物の中でも再生利用率が低く、裁断屑の量を減らすことは大きな課題となっている。借入人は、裁断屑量を大幅に減少させ、2025年度実績比で半減させる目標値を設定しており、これには相当な企業努力が必要と考えられることから、十分に挑戦的であるといえる。

（３）目標値の適切性

目標値の適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインから評価書を取得している。

借入人は、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. 目標の選定」、「3. 目標値の設定」に関して、自らの対応について客観的な評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及び目標値として設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、地域特性や業種特性を踏まえて借入人が独自に設定した評価基準について確認の上、評価書を作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインが評価書を作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインの評価書は貸付人に提供される。



ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016



留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの評価について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施する〈ひろぎん〉SXネクストローンについて、設定する目標の妥当性に対する評価を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。